

(仮称) 東金市外三市町清掃組合新ごみ処理施設建設事業に係る
環境影響評価準備書説明会における質疑応答について

本市では、令和6年10月9日から10月14日までの期間で、(仮称) 東金市外三市町清掃組合新ごみ処理施設建設事業に係る環境影響評価準備書説明会を計4回開催しました。

説明会で出されたご質問から環境影響評価準備書に係る質疑応答は下記のとおりです。

※ご質問等につきましては、趣旨を損なわない範囲で要約させていただきました。

※口語を文語にする過程で、わかりやすい表現とするため、一部加除しています。

(1) 環境影響評価に関すること

No.	質問・意見の要旨	回答
1	地下水の流れは、実際に現地調査を行ったのか。	観測井戸で1年間実測を行い、地下水位の変動を調査した。
2	支持地盤の調査は実施したか。また、基礎のくい打ちはどのくらいの深さになるのか。	基本設計の作成にあたり、地質調査を実施している。その結果、15m程度の杭が必要と考えている。
3	稼働後の環境に関するモニタリングは行う予定か。	法律で定められている排ガスについて、施設設置の機材で24時間監視していく。
4	食虫植物群落について評価がないのはなぜか。	食虫植物群落の水の供給について、地下水の影響が考えられることから、調査・予測・評価を行った。事業地から食虫植物群落まで離れており、その他の環境要素については食虫植物群落への直接的・間接的な影響は生じないことから、調査は実施していない。

(2) 施設の内容に関すること

No.	質問・意見の要旨	回答
1	廃熱など、現段階での計画を教えてください。	ごみ処理フローに基づき、処理を行い、発電等を行う予定である。
2	焼却灰及び焼却飛灰の熔融処理等による再利用を行う施設はどのようなものか。	施設内には処理する設備はないため、外部に委託する。
3	灰熔融炉は新施設では作らないのか。	現在の施設は、令和3年3月以降休止している。新しい施設でも灰熔融炉は設置しない計画である。
4	生活排水、雨水の排水計画はどのようなになっているか。	生活排水は場外に排出しない。雨水は調整池を作り、場外に排出する。

5	事業目的に記載されている災害に対する強靱化や環境学習機能とは、具体的なイメージかを教えてほしい。	災害時の防災拠点としては、自立して発電できる施設、地域住民の避難所を要求水準に盛り込むことを考えている。環境学習拠点としては、大人から子供まで環境に興味を持って学習できることを考えている。
---	--	--